

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(平成30年7月分【護岸建設工事中・埋立中の共通調査】)

【大気質、水質（一般項目）】

国土交通省 近畿地方整備局

大阪市港湾局

大阪湾広域臨海環境整備センター

目 次

I 事後調査の概要

1. 調査概要	I - 1
2. 工事の実施状況	I - 3
3. 調査結果の概要	I - 4

II 事後調査結果

1. 大気質	II - 1
2. 水質	II - 9

I 事後調査の概要

1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく平成 30 年 7 月（大気質、水質）の事後調査の概要は表－1 に、調査地点の位置は図－1 に示すとおりである。

表－1(1) 事後調査の概要（埋立地周辺における調査 大気質）

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO ₂) 窒素酸化物(NO ₂ 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	7月1日～31日	通年連続

表－1(2) 事後調査の概要（埋立地周辺における調査 水質（一般項目））

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P)	5点×2層 【1, 2, 3, 4, 5】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	7月17日	1回/月
●その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) クロロフィルa			

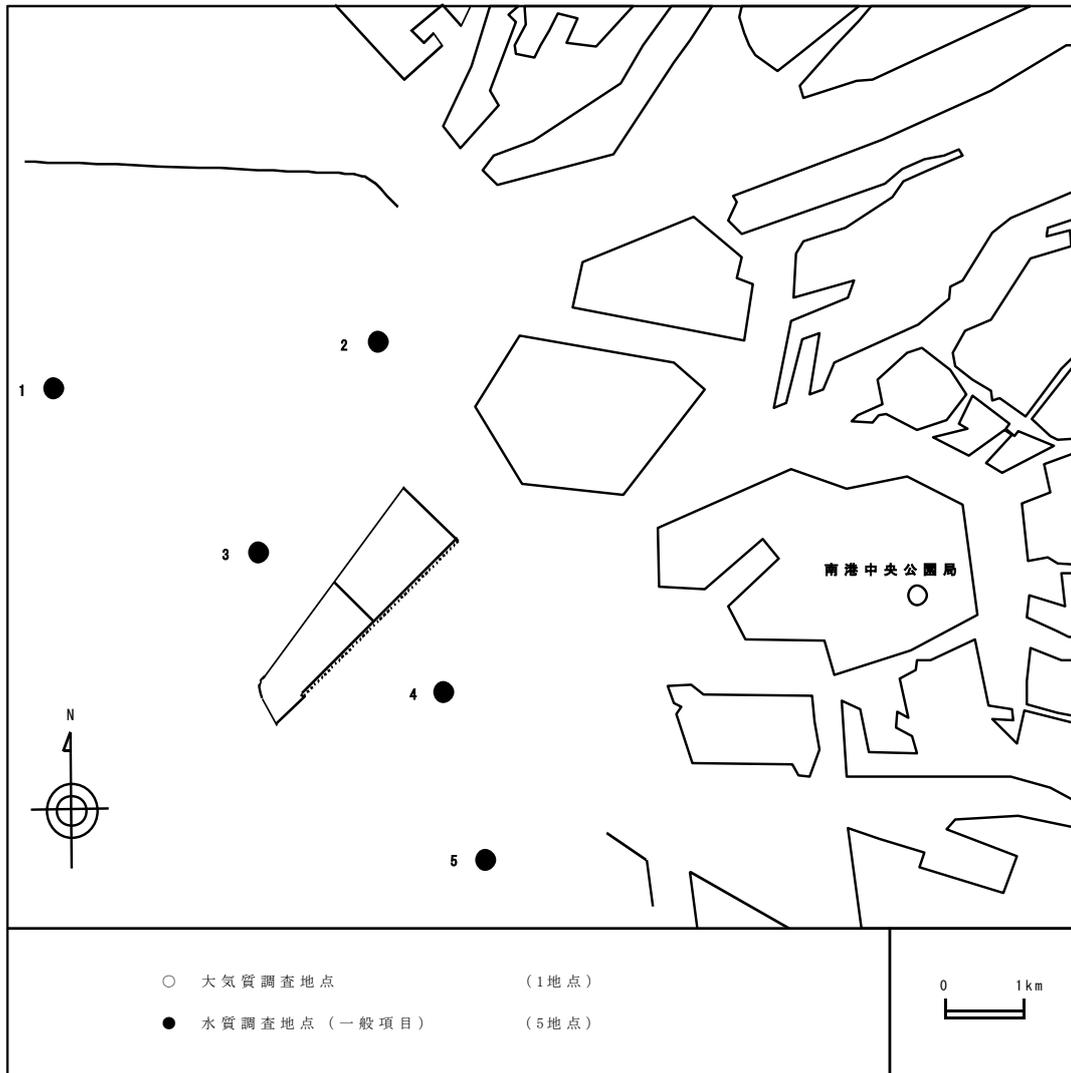
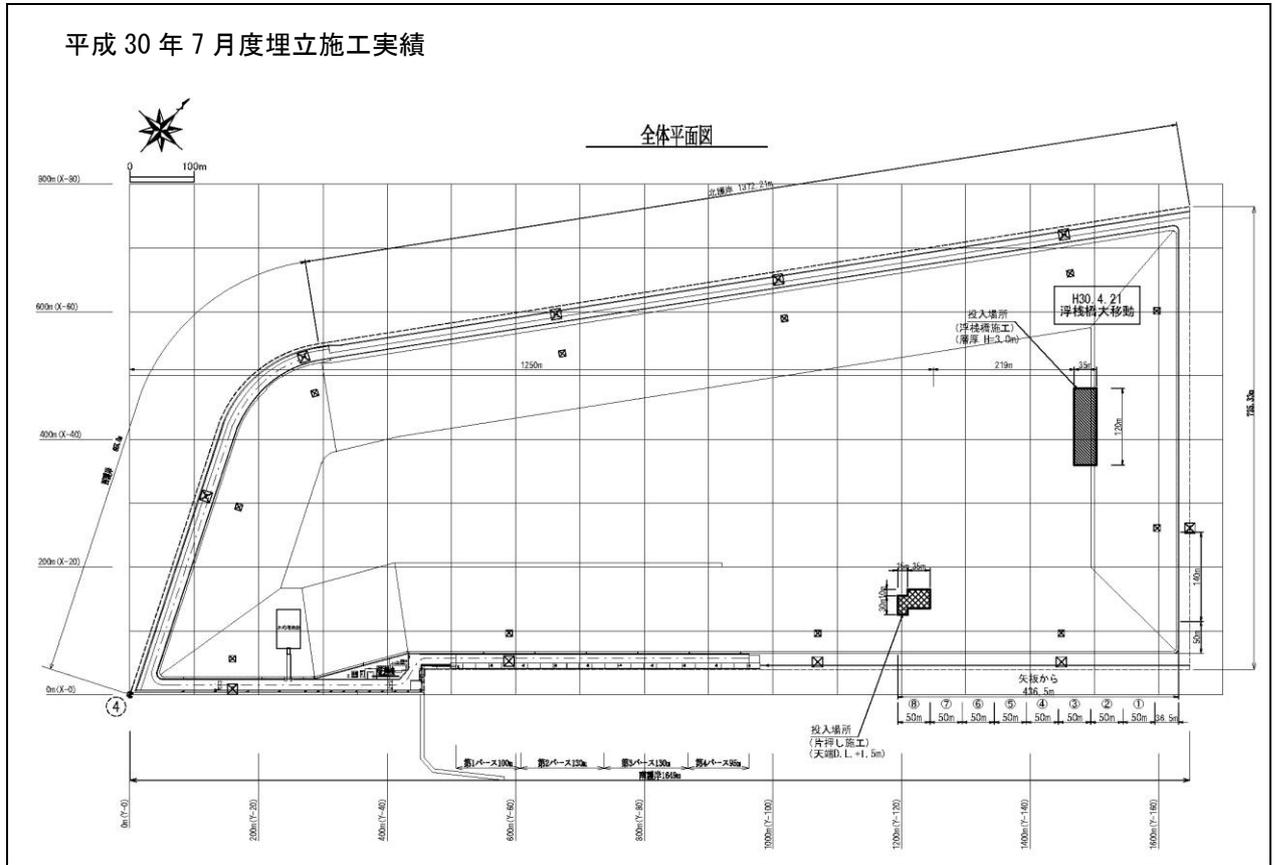


図-1 大気質・水質(一般項目)の調査地点

2. 工事の実施状況

平成 30 年 7 月の工事の実施状況は、図-2 に示すとおりである。



埋立量 (m ³)	進捗率 (%)
4,626,752	33.1

埋立容量 (計画量) : 13,975,000 m³

図-2 工事の実施状況

3. 調査結果の概要

埋立地周辺における調査

(1) 大気質 [大気質様式第1号～8号]

1) 二酸化硫黄 (SO₂) 【環境基準値：日平均値：0.04ppm以下、1時間値：0.1ppm以下】

二酸化硫黄(SO₂)の月平均値は、0.004ppmであった。また、日平均値の最高値は0.009ppm、1時間値の最高値は0.028ppmであり、環境基準値を下回っていた。

2) 二酸化窒素 (NO₂) 【環境基準値：日平均値0.04～0.06ppmのゾーン内またはそれ以下】

二酸化窒素(NO₂)の月平均値は、0.017ppmであった。また、日平均値の最高値は0.033ppmであり、環境基準を下回っていた。

3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 【環境基準値：日平均値0.10mg/m³以下、1時間値：0.20 mg/m³以下】

浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、0.019mg/m³であった。また、日平均値の最高値は0.038mg/m³、1時間値の最高値は0.054mg/m³であり、環境基準値を下回っていた。

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

(2) 水質

①一般項目 [水質様式第1号]

1) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8以上8.3以下】

水素イオン濃度 (pH) は上層で8.6～8.9、下層で7.9～8.0であり、上層では全ての調査地点において環境基準値の範囲外であったが、下層では全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

環境基準値の範囲外であった調査結果は、上層における調査地点1(8.6)、調査地点2(8.8)、調査地点3(8.9)、調査地点4(8.7)、調査地点5(8.7)であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成12年度)は上層で7.7～8.6であり、調査地点2、3、4、5でこの範囲を上回っていたが、概ね同程度であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

2) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg/L以下】

化学的酸素要求量 (COD) は上層で2.9～3.7mg/L、下層で1.4～2.0mg/Lの範囲であり、上層では調査地点1、2、3、4において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点1(3.2mg/L)、調査地点2(3.7mg/L)、調査地点3(3.4mg/L)、調査地点4(3.2mg/L)であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成12年度)は上層で1.6～4.9mg/Lであり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

3) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg/L以上】

溶存酸素量 (DO) は上層で 9.0~9.3mg/L、下層で 4.6~6.0mg/L の範囲であり、上層では全ての調査地点において環境基準値を満たしていたが、下層では調査地点 2 で環境基準値を下回っていた。

環境基準値を下回っていた調査結果は、下層における調査地点 2 (4.6mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は下層で 0.6~11mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値 : 0.6mg/L 以下】

全窒素 (T-N) は上層で 0.34~0.55mg/L、下層で 0.28~0.36mg/L の範囲にあり上層、下層共に全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

5) 全燐 (T-P) 【環境基準値 : 0.05mg/L 以下】

全燐 (T-P) は上層で 0.027~0.098mg/L、下層で 0.026~0.074g/L の範囲であり、上層では調査地点 2、3 において環境基準値を上回っており、下層では調査地点 2 において環境基準値を上回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 2 (0.092mg/L)、調査地点 3 (0.098mg/L)、下層における調査地点 2 (0.074mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.021~0.15mg/L、下層で 0.020~0.25mg/L であり、この範囲にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

6) 濁度

濁度は上層で 3~8 度(カリン)、下層で 1~3 度(カリン)の範囲であった。

7) 浮遊物質量 (SS)

浮遊物質量 (SS) は上層で 3~7mg/L、下層で 2~3mg/L の範囲であった。

8) コロフィル a

コロフィル a は上層で 3.3~18 μ g/L、下層で 0.3~0.9 μ g/L の範囲であった。

《 参 考 》

■環境基準等（本報告関係分）

1. 環境基準

(1)大気質

項目	基準値
二酸化硫黄 (SO ₂)	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、 1時間値が0.1ppm以下であること。
二酸化窒素 (NO ₂)	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでの ゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、 1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること。

(2)水質

①水質（海域）

類型	項目	基準値
B	水素イオン濃度（pH）	7.8以上8.3以下
	化学的酸素要求量（COD）	3mg/L以下
	溶存酸素量（DO）	5mg/L以上
	n-ヘキサン抽出物質（油分等）	検出されないこと
III	全窒素（T-N）	0.6mg/L以下
	全磷（T-P）	0.05mg/L以下

注) 1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及びn-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全磷の基準値は年間平均値である。

2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。

公共用水域における環境基準（BOD又はCOD）の評価方法について（昭和52年環水管52号）

(1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもって評価するが、その割合が75%以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。
なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「75%水質値」を用いるものとする。

75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ0.75×n番目（nは日間平均値のデータ数）のデータ値をもって75%水質値（0.75×n番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる）とする。

(2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について
環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち75%以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。

(3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について

これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

2. 事業実施前調査結果（平成12年度・水質（一般項目））

項目	区分	事業実施前調査 (平成12年度・調査地点1～5)	
		最小値 ～ 最大値 (m/n)	平均値 (m/n)
水素イオン濃度 (pH) [-]	上層	7.7 ～ 8.6 (13/60)	—
	下層	7.8 ～ 8.3 (0/60)	—
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	上層	1.6 ～ 4.9 (34/60)	3.2 ～ 3.9 (5/5)
	下層	1.2 ～ 3.6 (4/60)	2.0 ～ 2.2 (0/5)
溶存酸素量 (DO) [mg/L]	上層	5.2 ～ 14 (0/60)	8.6 ～ 9.8
	下層	0.6 ～ 11 (14/60)	6.2 ～ 6.9
全窒素 (T-N) [mg/L]	上層	0.46 ～ 2.1	0.91 ～ 1.1 (5/5)
	下層	0.29 ～ 0.82	0.44 ～ 0.49 (0/5)
全磷 (T-P) [mg/L]	上層	0.021 ～ 0.15	0.061 ～ 0.098 (5/5)
	下層	0.020 ～ 0.25	0.038 ～ 0.063 (1/5)

- 注) 1. 「最大～最小」の値は、調査地点1～5における全調査地点の最小値と最大値を示す。
 2. m：環境基準を満たしていないデータ数、n：総データ数を示す。
 3. 「平均値」の値は、各調査地点における年平均値の最小～最大を示しているが、化学的酸素要求量の「平均値」は各調査地点における75%値の最小～最大を示す。

II 事後調查結果

大気質測定結果総括表 [平成30年7月分]

項 目		測 定 局
		南港中央公園
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	736
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	0
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	737
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	740
	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数（時間）	0
備 考		

注: 大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

二酸化硫黄測定結果 [平成30年7月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値 (ppm)	1時間値の最高値 (ppm)
日	1 (日)	0.004	0.011
	2 (月)	0.004	0.016
	3 (火)	0.003	0.016
	4 (水)	0.001	0.003
	5 (木)	0.000	0.003
	6 (金)	0.001	0.004
	7 (土)	0.002	0.010
	8 (日)	0.003	0.007
	9 (月)	0.005	0.015
	10 (火)	0.009	0.028
別	11 (水)	0.008	0.024
	12 (木)	0.006	0.019
	13 (金)	0.009	0.019
	14 (土)	0.004	0.007
	15 (日)	0.008	0.018
	16 (月)	0.005	0.014
	17 (火)	0.004	0.008
	18 (水)	0.007	0.022
	19 (木)	0.004	0.008
	20 (金)	0.007	0.014
値	21 (土)	0.005	0.008
	22 (日)	0.003	0.009
	23 (月)	0.007	0.016
	24 (火)	0.005	0.012
	25 (水)	0.004	0.008
	26 (木)	0.007	0.015
	27 (金)	0.004	0.010
	28 (土)	0.002	0.014
	29 (日)	0.002	0.011
	30 (月)	0.003	0.016
	31 (火)	0.005	0.013
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		736	
月平均値 (ppm)		0.004	
日平均値の最高値 (ppm)		0.009	
1時間値の最高値 (ppm)		0.028	
1時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第3号（埋立地関連）

一酸化窒素測定結果 [平成30年7月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (日)	0.002	0.003
	2 (月)	0.007	0.026
	3 (火)	0.011	0.032
	4 (水)	0.005	0.012
	5 (木)	0.006	0.017
	6 (金)	0.027	0.059
	7 (土)	0.021	0.064
	8 (日)	0.008	0.022
	9 (月)	0.016	0.057
	10 (火)	0.015	0.057
別	11 (水)	0.010	0.036
	12 (木)	0.009	0.042
	13 (金)	0.006	0.027
	14 (土)	0.002	0.006
	15 (日)	0.002	0.008
	16 (月)	0.001	0.003
	17 (火)	0.002	0.014
	18 (水)	0.007	0.033
	19 (木)	0.002	0.005
	20 (金)	0.007	0.022
値	21 (土)	0.005	0.015
	22 (日)	0.002	0.007
	23 (月)	0.004	0.018
	24 (火)	0.003	0.010
	25 (水)	0.001	0.005
	26 (木)	0.002	0.008
	27 (金)	0.001	0.005
	28 (土)	0.001	0.014
	29 (日)	0.000	0.002
	30 (月)	0.003	0.011
	31 (火)	0.005	0.018
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		737	
月平均値 (ppm)		0.006	
日平均値の最高値 (ppm)		0.027	
1時間値の最高値 (ppm)		0.064	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

二酸化窒素測定結果 [平成30年7月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (日)	0.000	0.000
	2 (月)	0.005	0.016
	3 (火)	0.015	0.032
	4 (水)	0.010	0.018
	5 (木)	0.011	0.023
	6 (金)	0.023	0.039
	7 (土)	0.016	0.025
	8 (日)	0.016	0.024
	9 (月)	0.017	0.032
	10 (火)	0.020	0.037
別	11 (水)	0.024	0.048
	12 (木)	0.031	0.053
	13 (金)	0.033	0.059
	14 (土)	0.021	0.030
	15 (日)	0.018	0.040
	16 (月)	0.013	0.023
	17 (火)	0.017	0.028
	18 (水)	0.027	0.055
	19 (木)	0.026	0.041
	20 (金)	0.015	0.027
値	21 (土)	0.011	0.017
	22 (日)	0.008	0.013
	23 (月)	0.019	0.042
	24 (火)	0.017	0.038
	25 (水)	0.023	0.042
	26 (木)	0.021	0.032
	27 (金)	0.014	0.027
	28 (土)	0.013	0.038
	29 (日)	0.008	0.022
	30 (月)	0.013	0.025
	31 (火)	0.016	0.022
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		737	
月平均値 (ppm)		0.017	
日平均値の最高値 (ppm)		0.033	
1時間値の最高値 (ppm)		0.059	
1時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)		0	
1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数 (時間)		0	
日平均値が0.06ppmを超えた日数 (日)		0	
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

窒素酸化物（NO+NO₂）測定結果 [平成30年7月分]

測定局		南港中央公園		
項目		日平均値		1時間値の最高値 (ppm)
		(ppm)	NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)	
日	1 (日)	0.002	0.0	0.003
	2 (月)	0.012	42.5	0.040
	3 (火)	0.026	57.0	0.051
	4 (水)	0.015	68.2	0.030
	5 (木)	0.017	64.2	0.034
	6 (金)	0.050	45.8	0.093
	7 (土)	0.037	42.7	0.082
	8 (日)	0.024	64.7	0.043
	9 (月)	0.032	52.2	0.075
	10 (火)	0.036	56.7	0.087
別	11 (水)	0.034	69.6	0.054
	12 (木)	0.040	76.7	0.081
	13 (金)	0.039	85.2	0.065
	14 (土)	0.022	93.0	0.032
	15 (日)	0.020	91.3	0.045
	16 (月)	0.013	94.3	0.024
	17 (火)	0.019	88.0	0.039
	18 (水)	0.034	80.2	0.068
	19 (木)	0.029	92.7	0.044
	20 (金)	0.022	67.0	0.043
値	21 (土)	0.017	67.8	0.031
	22 (日)	0.011	78.2	0.017
	23 (月)	0.024	82.4	0.047
	24 (火)	0.020	86.3	0.039
	25 (水)	0.025	94.1	0.046
	26 (木)	0.023	90.7	0.040
	27 (金)	0.015	94.4	0.032
	28 (土)	0.014	92.4	0.052
	29 (日)	0.008	95.0	0.024
	30 (月)	0.016	83.1	0.036
	31 (火)	0.021	77.5	0.036
有効測定日数 (日)		31		
測定時間 (時間)		737		
月平均値 (ppm)		0.023		
日平均値の最高値 (ppm)		0.050		
1時間値の最高値 (ppm)		0.093		
月平均値 NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)		72.8		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. NO₂ / (NO+NO₂) の算定方法は、下記のとおりである。

日(月)平均値NO₂ / (NO+NO₂) =

(NO及びNO₂が同時測定されている時間のNO₂濃度の日(月)間にわたる総和) /

(NO及びNO₂が同時測定されている時間のNO+NO₂濃度の日(月)間にわたる総和)

3. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

気象観測結果（風向・風速）[平成30年7月分]

測定局		南港中央公園			
項目		風速			最多 風向 16方位
		平均 風速 (m/s)	最大風速		
			風速 (m/s)	風向 16方位	
日	1 (日)	(0)	(0)		
	2 (月)	(0.5)	(0.9)	(WNW)	(WNW)
	3 (火)	0.7	1.4	ESE, ESE, ESE	ESE
	4 (水)	1.5	3.0	SSW	SSW
	5 (木)	1.2	2.3	SW	SW
	6 (金)	0.5	1.0	E	ESE
	7 (土)	0.5	1.5	ESE	CALM
	8 (日)	0.4	1.0	WNW, W	CALM
	9 (月)	0.5	1.4	WSW	CALM
	10 (火)	0.6	1.6	WSW	WNW
別	11 (水)	0.5	0.9	W, WSW	CALM
	12 (木)	0.3	0.8	W, W	CALM
	13 (金)	0.4	1.1	WSW	CALM
	14 (土)	0.5	1.0	W, WSW	W
	15 (日)	0.6	1.2	WSW	CALM
	16 (月)	0.5	0.9	WSW	WNW
	17 (火)	0.6	1.2	WSW	WSW
	18 (水)	0.6	1.0	WSW, WSW, W	WNW, CALM
	19 (木)	0.7	1.1	SW, W	W
	20 (金)	0.7	1.6	WSW	WNW
値	21 (土)	0.7	1.3	W	WNW
	22 (日)	0.6	1.4	WSW	CALM
	23 (月)	0.7	1.3	N	WSW
	24 (火)	0.7	1.2	N	CALM
	25 (水)	0.6	1.1	WSW	WSW, W
	26 (木)	0.5	1.0	W, WSW	WNW
	27 (金)	0.6	1.2	W	WNW
	28 (土)	0.7	1.9	N	CALM
	29 (日)	1.3	2.4	NW	E
	30 (月)	1.8	2.8	E	E
	31 (火)	1.1	2.0	ESE, E	ENE
測定時間 (時間)		706			
月平均風速 (m/s)		0.7			
月最大風速 (m/s)		3.0			
月最多風向 (16方位)		WNW			

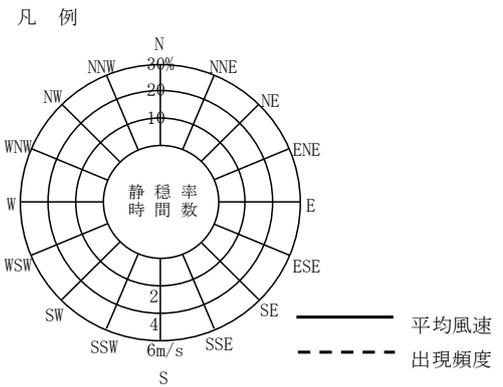
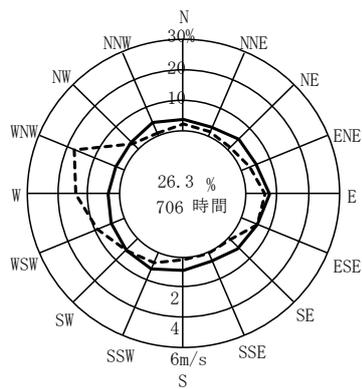
注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第8号（埋立地関連）

風向別出現頻度及び風向別平均風速 [平成30年7月分]

方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数	11	8	21	40	38	4	5	5	26	36	65	99	122	17	7	16	186	706
頻度 (%)	1.6	1.1	3.0	5.7	5.4	0.6	0.7	0.7	3.7	5.1	9.2	14.0	17.3	2.4	1.0	2.3	26.3	-
平均風速 (m/s)	0.6	1.0	1.0	1.5	1.1	0.9	0.6	0.9	1.2	1.1	0.9	0.7	0.6	0.7	1.0	0.8	0.2	-

測定局：南港中央公園局 風向風速計高さ：14.2m



注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

風配図 [平成30年7月分]

水質様式第1号

水質調査結果（一般項目）[平成30年7月分]

調査日：平成30年7月17日

項目	調査点		1	2	3	4	5	最小値	～	最大値	平均値
時刻			8:33	8:00	9:05	9:50	9:30		-		-
透明度	[m]		1.5	1.5	1.2	1.4	1.7	1.2	～	1.7	1.5
水温	[°C]		29.0	28.6	29.1	28.9	29.2	28.6	～	29.2	29.0
			21.9	22.1	21.8	21.8	22.0	21.8	～	22.1	21.9
塩分	[-]		6.8	3.3	6.5	13.9	13.6	3.3	～	13.9	8.8
			31.5	31.3	31.4	31.4	31.2	31.2	～	31.5	31.4
濁度	[度(カリン)]		5	8	5	4	3	3	～	8	5
			3	3	1	2	1	1	～	3	2
浮遊物質 (SS)	[mg/L]		3	7	5	5	3	3	～	7	5
			2	3	2	3	2	2	～	3	2
水素イオン濃度 (pH)	[-]		8.6	8.8	8.9	8.7	8.7	8.6	～	8.9	-
			7.9	7.9	8.0	8.0	8.0	7.9	～	8.0	-
化学的酸素要求量 (COD)	[mg/L]		3.2	3.7	3.4	3.2	2.9	2.9	～	3.7	3.3
			1.8	2.0	1.5	1.4	1.4	1.4	～	2.0	1.6
溶存酸素量 (DO)	濃度	[mg/L]	9.3	9.3	9.3	9.0	9.0	9.0	～	9.3	9.2
	飽和度	[%]	126	123	126	127	127	123	～	127	126
全窒素 (T-N)	[mg/L]		0.43	0.46	0.55	0.43	0.34	0.34	～	0.55	0.44
			0.34	0.36	0.29	0.28	0.29	0.28	～	0.36	0.31
全磷 (T-P)	[mg/L]		0.031	0.092	0.098	0.037	0.027	0.027	～	0.098	0.057
			0.037	0.074	0.030	0.026	0.031	0.026	～	0.074	0.040
クロロフィル a (chl. a)	[μg/L]		3.3	18	17	16	7.1	3.3	～	18	12.3
			0.6	0.4	0.6	0.9	0.3	0.3	～	0.9	0.6

注) 上段：上層（海面下1m）
下段：下層（海底面上2m）

特記事項